

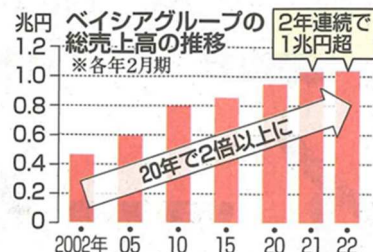
如何にして「とがらせる」!?

夏休み中に新聞を読んでいて、こんな記事に目が留まりました。

「個性磨く各社 売上高1兆円」

群馬県に本拠を置く小売業主体の企業集団が、2年連続で総売上高1兆円越えを達成した。作業服大手のワークマンやホームセンター大手のカインズ、生活雑貨の東急ハンズなどを展開する「ベシアグループ」だ。グループ各社が得意分野を磨き、業態ごとに「とがる」ことを目指す。

山梨日日新聞7月24日の記事より



この記事の「とがる」というフレーズが私に刺さりました。そういえば、鳳凰学の研究でもこの「とがる」って出てきたな、と。

今皆さんは鳳凰学（総合的な探究の時間）でそれぞれの課題研究を進めていますが、鳳凰学担当の松田先生の作成した資料の中にこんな一文があります。

リサーチエスチョンを導く手段として、「問い」を立て、身近な情報源を用いて既存の資料を通して答えを見つけ、新たな「問い」を立てる、を繰り返し、すぐに答えが見つからない「問い」まで「問いを尖らせる」

研究を進めるうえで大事なことはリサーチエスチョンを設定した後に、それをさらに研ぎ澄ませる必要があります、それができると良い研究になりそうです。そういったことがビジネスの世界でも生きてくるのかな、とこの記事を読んで感じました。

課題研究への取り組みは不確実な将来を生き抜く一つのスキルとなっていきます。通常の教科の勉強に加えて課題学習を進めることはたやすいことではありませんが、自らの疑問を解決し、もしかしたら社会の役に立って行く研究にもなりえるものですから、主体的な姿勢で取り組んでいってください。西高の普段の授業で学ぶ基礎基本をしっかりと定着させながら、鳳凰学での研究を通して自らの発想を一層尖らせていく！そして、多くの研究優秀者が来年の「n-Quest 西高探究の日」に文化ホールの舞台に立って発表してくれることを期待しています。

2年次主任 平岩岳実

～9月行事予定～

日	曜日	A/B	予 定	日	曜日	A/B	予 定
1	木	B	秋更衣調整期間(~10/31)	16	金	A	第2回定期試験時間割発表
2	金	B	夏季バイク通学許可式	17	土		
3	土		オープンスクール	18	日		
4	日			19	月		敬老の日
5	月	A	きずなの日	20	火	A	
6	火	A		21	水	A	
7	水	A	生徒協議会	22	木	A	
8	木	A		23	金		秋分の日
9	金	A		24	土		
10	土		土曜講座	25	日		
11	日			26	月	行事	第2回定期試験
12	月	B	きずなの日 小論文ガイダンス	27	火	行事	第2回定期試験
13	火	B		28	水	行事	第2回定期試験
14	水	B	第3回マナーアップ運動	29	木	行事	第2回定期試験
15	木	B		30	金	行事	球技大会

保護者のみなさまへ

12月に実施予定の修学旅行について、先日の年次集会で当初の「沖縄方面」から「関西方面（広島・大阪 USJ・京都）」へのコース変更を提案しました。生徒の健康を最優先としながら、高校時代もっとも思い出に残る行事を成功させたいと思っておりますので、ご理解いただけますようお願いいたします。詳細のご報告は9月中旬を予定しております。ご質問やご意見がありましたら、平岩へ直接メールしていただけると幸いです。

平岩メールアドレス：hiratake@kai.ed.jp



今津彩先生第1子誕生！

5月末から産休に入っている今津先生に7月23日第1子となるご長男が誕生しました。
「基（もとい）」くん 3308 グラムの元気な赤ちゃんです！



軒先の風鈴の音にも秋の気配が感じられます。甲府西高校二年次の皆様のご活躍を毎日のように新聞や高校野球のテレビ中継などで仄聞き、大変喜ばしく誇らしい思いでおります。

くだりまして私は、7月23日15時17分に3,308gの男児を出産しました。これまでさまざまにご配慮くださいました西高の皆様のおかげさまで、息子は五黄の寅の獅子座という強運のもとにすくすくと元気に育っています。生まれたばかりのときは手足も細くか弱い存在に、とにかく生かさなければと震える思いがしたのですが、最近では太もももむっちりして不敵な笑みを浮かべるようになり、少しほっとしたような、かえって心配なような、どぎまぎした思いでおります。

さて、皆さんは夏休みも明け、そろそろ高校生活の折返し地点を迎えますね。ここからは今まで以上に決断を求められるものの質も大きさも変化していくことでしょう。部活動の先輩としてどう下級生を導くか、最高年次としてどう鳳凰祭を成功させるか、自らの進路をどう決めるのか等、スケールの大きい決断と向き合う機会が増えてきます。なかには怖いなど感じる人もいるかもしれませんが、大丈夫です。西高には互いに刺激を与え、失敗や挫折を受け入れてくれる仲間や先生方がいます。存分に悩み、自分の道を見つけて進んでください。その積み重ねが皆さんの未来を切り拓いてくれることでしょう。この度産まれた息子が成人する頃には、皆さんは35歳です。山梨や日本、そして世界の各地各分野でリーダーとして活躍していることと思います。西高での高校生活が皆さんの将来を支える糧となりますことを心より願っております。

最後になりましたが、皆さんに出産のご報告をさせていただく場を設けてくださいました平岩年次主任に厚く御礼申し上げます。

西高二年次の皆さんと先生方の益々のご活躍をお祈り申し上げます。応援しています。がんばってくださいね。

今津彩

